

事業概要説明書 [1]			事業番号	2-22		
事務事業名	読書活動アシスタント派遣事業	担当部名	教育委員会			
事業開始年度	平成 18 年度	担当課名	学校教育課			
実施方法	直営	担当係	教育指導係			
根拠法令等	読書活動アシスタント派遣事業実施要綱					
事業の概要	目的 〔 何のために 〕	小中学校図書館を「活気ある図書館」とすることにより、児童生徒の読書に対する興味・関心が高まり、更なる読書活動が推進される。				
	対象・手段 〔 誰(何)に対して、何をするのか 〕	<p>1. 対象:宮崎市内全小中学校</p> <p>2. 手段:宮崎市内全小中学校に、読書活動アシスタントを派遣する。 ○各小中学校に1名ずつ、原則1日2.5時間、年間550時間を限度</p> <p>※読書活動アシスタントの主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒への図書の貸し出し</li> <li>・書架の整理</li> <li>・各種本コーナーの設置や図書室内の机、椅子の配置の工夫(空間づくり)</li> <li>・読み聞かせ</li> </ul>				
	事業の必要性	<p>子どもの読書離れや読解力不足が指摘されるなか、本市においては読書活動の充実を教育重点施策の1つに掲げ、本事業を実施している。</p> <p>読書意欲を高め、児童生徒の読書量を増やすことにより、読解力や思考力が高められるなど学力への良い影響も期待できることから、子ども達を取り巻く読書環境の整備は急務である。</p>				
コスト	平成22年度(予算)		人件費			
	直接事業費	30,550 千円	←	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	人件費	750 千円		正規職員	750 千円	0.1 人
総事業費	31,300 千円	嘱託職員		0 千円	0 人	
平成22年度 直接事業費内訳	<p>&lt;臨時雇給&gt; @760円×550時間×73校 =30,514千円</p>		<p>&lt;読書活動アシスタント研修外部講師謝金&gt; @6千円×3時間×1人×2回 =36千円</p>			

事業概要説明書 [2]		事業番号	2-22		
年度		平成21年度(決算)	平成22年度(予算)		
直接事業費		28,278 千円	30,550 千円		
財源	一般財源	28,278 千円	30,550 千円		
	受益者負担金	0 千円	0 千円		
	その他	0 千円	0 千円		
成果目標 〔 どのような状態 を目指すのか 〕	<p>児童生徒の読書量を増やすことにより読解力や思考力が高められることから、心豊かな子どもを育成するとともに、学力を向上させる。 読書活動アシスタント業務の作業効率性を高める。</p>				
成果実績 〔 成果目標の 達成状況等 〕	[状況]	想定した成果を得ている。			
	[説明]	<p>読書活動アシスタントを入れたことによって、平成20年度まで読書量が増えたが、平成21年度にやや減少しているものの、平成18年度のアシスタント導入前に比べると依然高い数値を保っている。</p>			
成果指標 〔 事業の実績 及び目標 〕	指標名 (下段: 指標の説明)	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	平成22年度 (目標)
	(小)5月の1ヶ月間の平均貸出冊数	冊	14	13	14
	(中)5月の1ヶ月間の平均貸出冊数	冊	3	3	3
事業の方向性 〔 事業の現状と 課題、今後の あり方等 〕	<p>文部科学省が教育課程の基準として示している、新学習指導要領において、これまで以上に学校図書館の果たす役割は期待されている。 現在、読書アシスタントは、1日当たり2.5時間という限られた範囲で業務を行っているが、学校の読書活動の拠点である図書館の一層の充実を図るために、研修を充実させながらアシスタントの資質の向上に努める。</p>				
特記事項 〔 参考情報等 〕					

## 読書活動アシスタント派遣事業補助資料【学校教育課】

### <読書活動アシスタント派遣事業実施要綱より>

(アシスタントの活動内容)

第3条 アシスタントは、校長の指導のもと、司書教諭及び学校図書館教育担当教諭を補佐して、次の各号に掲げる業務に従事するものとする。

- (1) 児童生徒及び教職員に対する図書貸出・返却業務
- (2) 図書の受け入れ、分類、装備、配架、修理など図書の整備
- (3) 図書及び学校図書館利用に関するデータ管理
- (4) 館内ディスプレイの充実など学校図書館の環境整備

2 アシスタントは前項に定める業務のほか、校長の許可を得て次の各号に掲げる業務を行うことができる。

- (1) 学校図書館を活用する授業への支援
  - ア 学校図書館を活用した授業に関連する図書の情報提供
  - イ 学級担任及び教科担任と連携した「調べ学習」等における学習活動支援
  - ウ 学校図書館利用に関する児童生徒へのオリエンテーションの補助
- (2) 児童生徒の読書活動支援

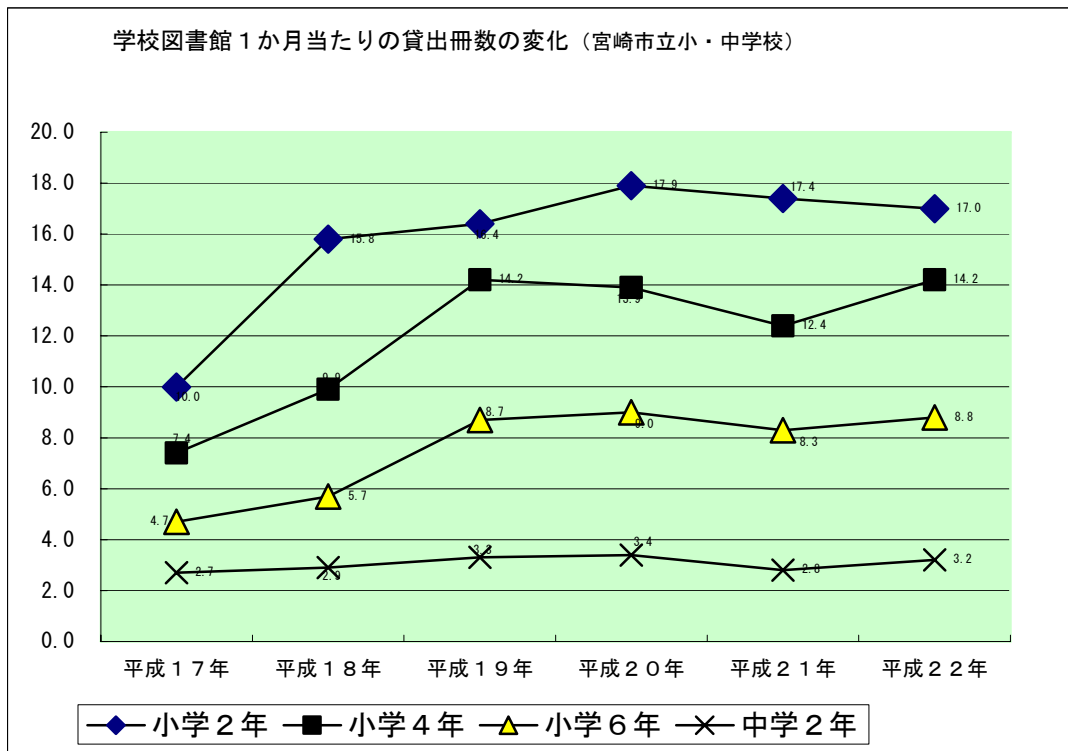
「読み聞かせ」「ブックトーク」等の実践をとおしての読書意欲・関心の喚起と読書活動の推進

### <読書活動アシスタント派遣事業の成果>

1 学校図書館1ヶ月当たりの貸し出し冊数の変化

( 冊 )

各年度5月実施	小学2年	小学4年	小学6年	中学2年
平成17年	10.0	7.4	4.7	2.7
平成18年	15.8	9.9	5.7	2.9
平成19年	16.4	14.2	8.7	3.3
平成20年	17.9	13.9	9.0	3.4
平成21年	17.4	12.4	8.3	2.8
平成22年	17.0	14.2	8.8	3.2



## 2 読書活動アシスタント派遣状況報告書（校長所見）

### （効率的な図書館運営）

- 図書の増加に伴い書架の配置を工夫し、本を読みに来る児童が分かりやすく、また、気持ちよく図書室を利用できるように環境整備にも熱心に取り組んでいた。
- 1・2年生を対象に図書室のしくみや利用の仕方・調べ学習時における活用の仕方を指導した。その中で読書活動アシスタントによる細やかな説明が大変ありがたかった。
- 新入生の名簿登録と貸し出しカードの作成も早々に行ってもらい、4月19日から1年生の貸し出しができるようになった。

### （児童生徒の読書意欲の向上）

- 季節の展示物やお薦めの本の展示コーナーなどにより、生徒の興味・関心も高くなってきた。
- 休み時間にも利用する児童が多くなり、学校図書館の機能を果たせる環境が整ってきました。
- 季節の行事にあった環境設営は何かと好評で児童の話題にのぼることもある。
- 児童は図書館開館を心待ちにし、開館後は、読書に意欲的に親しんでいた。
- 新刊の案内もかねて掲示物を作成したり、図書館便りを発行したりなど、多くの生徒が良書に興味をもつ工夫がなされている。

### （学習情報センターとしての機能充実）

- 調べ学習の際のアドバイスを的確に行い、学習効果が上がった。
- 各学年からの授業で使う本の準備にも対応してもらい、とても助かっている。
- 教科書の単元にそったものや、新聞記事にそったものなど、選書も工夫してもらっている。